



あぜ上三和子 都議会報告

事務所 江東区千石 2-8-16
電話 :3615-0130 FAX:3615-0253

発行 日本共産党東京都議団
電話 5320-7270
FAX 5388-1790
都議団控室
新宿区西新宿 2-8-1
2010年6月26日 No.10



▲この問題は、6月7日に記者会見で明らかにするとともに、第二回定例都議会の代表質問でも取り上げました。

都合の悪いデータは墨塗りで隠す

豊洲・市場移転予定地の土壌汚染対策実験

墨塗りされた
開示文書↓

築地市場の豊洲移転経費をふくむ今年度予算は、自民・公明両党にくわえて、民主党まで公約に反して賛成し、都民の不安と怒りが広がっています。

日本共産党都議団は、移転予定地の土壌汚染を無害化できるかどうか確かめるとする「適用実験」について、開示文書を入

手しました。ところが、その文書は、すべてのデータが「墨塗り」という異常なものでした。

●説明不能の実験データ

都は3月に実験結果の「中間報告」を発表し、移転予定地の汚染は「確実に無害化できる」と宣言しました。

●実験したのかも墨塗り

実験そのものについての開示文書も、すべてのデータが墨塗りされた異常なものでした。いったい実験をやったのかどうかさえ、わかりません。

しかしその土台となる実験データの一部を隠し、それを党都議団が追及すると、「そのデータの解釈について都民に説明できないから」「専門家の説明を受けた上でホームページでも公表する」と言い訳していました。

対象物質も、移転予定地で検出されている7種類について行うと発表しているのに、実際に調べたのは3種類（ベンゼン・シアン・ヒ素）だけであることもわかりました。

ところが今回の開示により、発表前に専門家との相談を、5回23時間も行っていたことがわかりました。しかもその内容はすべて墨塗りでした。「無害化できる」の宣言は、移転予算を

通すために、都民と都議会をあざむくものだったと考えざるを得ません。こんな暗やみの、いいかげんな実験で、豊洲移転に「ゴーサイン」を出すとしたら、百年の悔いを残します。すみやかに実験を中止し、すべての基本情報を公開すべきです。



都政に関するご意見、ご要望をお寄せください。